

# 市ヶ谷だより

市ヶ谷キャンパス 教職課程センター



2024年4月号（3/15発行）

先月、韓国の釜山で開かれた「世界卓球 2024 団体戦」、ご覧になった皆さんの記憶にも印象的に残っている試合は、女子日本代表チームが常勝軍団である中国の女子チームと対戦した決勝戦ではないかと思えます。出場した日本の3選手の活躍も光りましたが、控えにまわっていた伊藤美誠選手が、ベンチから懸命にアドバイスし、チームを支えた姿にはとても好感が持てました。

私は伊藤選手の姿を見ていた時、定年退職時に勤務していた都立N工業高校のKH先生のことを思い出しました。当時KH先生は新規採用2年目の若手女性教員で保健体育科を担当していました。都立高校では年に2回、校長が全ての教員の授業を観察することになってはいますが、私が初めてKH先生の体育の授業を観察した時、プールで泳いでいる全ての生徒にプールサイドから懸命に声をかけ、アドバイスをしていました。生徒たちもそのアドバイスに応えるかのようであり、先生の声掛けが生徒をやる気にさせることを改めて実感しました。現在学校現場では「主体的、対話的で深い学び」が求められていますが、生徒に対する先生の日常の声掛けが、それを具現化することに繋がると言っても過言ではないように思います。

さて、前号でも記しましたが、3月に入り今年度の教員採用候補者選考試験に合格した4年生から配属先の学校情報が寄せられてきました。“母校である高等学校”の先生になる方、“定時制高校”の先生になる方、“中学校1年生の担任”を持たされる方等様々ですが、教職を志した頃の気持ちをいつまでも持ち続け、生徒のために全力で指導に当たってほしいと思います。そこで前号に続き、初任者の心得をお伝えしたいと思います。今回は、「**初任の先生がよく躓く失敗を乗り越える**」です。初任の先生は、『早く生徒の中に入って、仲良くしなきゃ！』という気持ちになりがちです。とても自然な発想ですが、以下の4点を念頭に置いて日頃の指導に当たってください。

**N**：仲良し友達になろうとしない  
**K**：毅然とした態度で教師をする  
**J**：授業中と休み時間の区別をつける  
**S**：叱るときは、真剣に叱る



アッ！ この先生となら頑張れる

## ＜教職課程センター 4月の相談指導予定＞ 変更になる場合もあります

4月		9:00~12:20	14:10~16:50	4月		9:00~12:20	14:10~16:50
2	火	個別相談	個別相談	17	水	教職教養対策講座	教職教養対策講座
3	水	個別相談	個別相談	18	木	面接・討論対策講座	個別相談
4	木	個別相談	個別相談	19	金	論作文対策講座	個別相談
5	金	個別相談	個別相談	23	火	個別相談	個別相談
9	火	個別相談	個別相談	24	水	教職教養対策講座	教職教養対策講座
10	水	教職教養対策講座	教職教養対策講座	25	木	面接・討論対策講座	個別相談
11	木	面接・討論対策講座	個別相談	26	金	論作文対策講座	個別相談
12	金	論作文対策講座	個別相談	30	火	個別相談	個別相談
16	火	個別相談	個別相談				

◇ 各対策講座は、午前9:00~10:30の時間設定となります。なお、「教職教養対策講座」については、3年次での受験を考えている学生のために、午後1:30~2:50の時間帯も開講します。

◎相談指導・各種イベントのお申し込みは◎

教職課程センター（月～金 9:30~17:30）に来室又はメール（[kkc@ml.hosei.ac.jp](mailto:kkc@ml.hosei.ac.jp)）にて

【URL】[http://www.hosei.ac.jp/kyoushoku\\_katei/](http://www.hosei.ac.jp/kyoushoku_katei/)